

2021年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



子宮頸がんワクチンを受けましょう

子宮頸がん予防(ヒトパピローマウイルス)ワクチン接種は、平成25年6月14日より、積極的な接種勧奨が差し控えられていましたが、ようやく来年4月から積極的勧奨が再開されることになりました。対象年齢を過ぎてしまった子への公的接種も検討されています。

日本では副反応かと思われるけいれんや麻痺の映像がマスコミで何回も流されました。ただ、世界でも多くの国で同じワクチンを使っていますが、そのような副反応が言われているのは日本だけです。名古屋スタディという調査ではワクチンと副反応の関係はないことが証明されました。

日本では毎年1万人の女性が新たに子宮頸がんと診断され、毎年3,000人の方が子宮頸がん で亡くなっています。特に20代から30代の出産年齢の方で増えています。子宮頸がんは性交渉でヒトパピローマウイルスがうつる病気です。子宮頸がんワクチンは安全性が高く、子宮頸がんや扁平コンジローマの発症予防に効果も非常にあるワクチンです。

子宮頸がんワクチンは現在世界では9価(9種類のウイルスに効く)ワクチンに変わっています。日本ではまだ定期接種は4価のままです。9価ワクチンは自費になりますが、ご希望の方はお申込みください。男子も自費ですが接種は可能です(4価のみ)。

・・・感染症情報(12月1日現在)・・・

- ★ノロウイルスと思われる胃腸炎が少しずつ出始めました
- ★手足口病、ヘルパンギーナはだいぶ減ってきました。
- ★インフルエンザはまだ当院では一例も診ていません

親のかかわり

親は子どもに何か問題が起こると、自分の責任というものを必要以上に感じてしまいがちです。

しかし、どの親も完璧ではありません。

失敗は許される、何回でもやり直せる、明日はできるかも、そう思いながら子育てをしている親を、子どもはしっかり見ています。子どもと一緒に成長できるのが親なのだと思います。逆に言えば子どもが親を成長させてくれるのかもしれない。

子育て期は長いです。何がいけなかったのかと後ろ向きに考えるよりも、こんな親でありたいと前向きにチャレンジする姿を見せてあげるのがいいですね。

(ゆっけ)

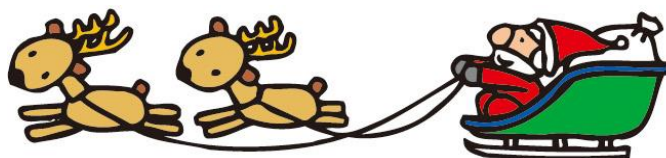
モーモーハウスだより

クリスマスの楽しい音楽があちらこちらから聞こえてきます。赤、白、緑のクリスマスの雰囲気ワクワク♥

サンタさんをお願いするプレゼントの話を嬉しそうにしてくれます。子どもたちのニコニコ笑顔を見るとこちらも元気が出てきますね。

年末年始休診のお知らせ

12/30(木)午後～1/3(月)



かわむら小児科ホームページ

<https://kawa-shoni.com/>